

# 第 1 2 回教育再生会議 議事録

内閣官房教育再生会議担当室

## 第 1 2 回教育再生会議議事録

日 時 平成20年 1 月31日（木） 18：38～18：48  
場 所 総理官邸 3 階南会議室

### 議 事 次 第

1．開 会

2．最終報告（案）について

3．福田内閣総理大臣挨拶

4．閉 会

（配付資料）

資料 社会総がかりで教育再生を（最終報告）（案）

野依座長 ただいまから第12回の教育再生会議を開会させていただきます。

委員の皆様方におかれましては、大変ご多忙のところご出席賜りまして、ありがたく思っております。

本日は最終報告案の取りまとめを行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。それでは、早速議事に入ります。

まず、山谷総理大臣補佐官から報告案について、前回からの修正点を中心にご説明いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

山谷総理補佐官 1月22日の合同分科会で、最終報告(案)の修正につきまして、座長、座長代理にご一任をいただきました。その後、運営委員の皆様とご相談いたしまして、座長、座長代理のご了解をいただいたものを本日提出させていただいております。1月22日の合同分科会でのご意見につきましては、できる限り反映をさせております。

主な点を申し上げます。最終報告(案)という皆様のお手元の資料でございますけれども、まず1ページの「はじめに」というところでございます。徳育の充実というのを追加しております。一番最後の段落ですが、「最近の社会状況に鑑み、学校教育における徳育の充実が不可欠です」というのが書き込まれております。また、「『知』の大競争がグローバルに進む時代にあって」という「グローバル」というのを書き込ませていただいております。そして、その1段上の4パラグラフ目ですが、2行目、「全ての子供や若者たち」ということで、「全ての子供や若者たち」ということを入れさせていただいております。

次に、2ページでございますけれども、最初に学力が上に来ておりましたが、教育内容のところ、徳と体を最初に皆様のご意見で上に持ってこさせていただいております。「心身ともに健やかな徳のある人間を育てる」というところでございます。また、体育についての記述を充実してほしいということで、体育の記述が充実されているところがございます。

それから、学習指導要領の随時の見直しというところが学力の向上の部分、丸2つ目のところで「学習指導要領を随時見直す」というところを追加させていただいております。

次に、5ページ目でございます。

皆様のご意見を踏まえまして、3パラグラフ目の2行目です。「実効性を担保するため新たな会議を内閣に設ける」と明記させていただきました。

また、最終案の構成といたしまして、これまで提言したこと、そして実現できたこと、そして最後にやはりチェックリストというものが必要ではないかというご意見がございましたので、6ページ、7ページでございますが、提言の実効性担保のため、チェックリストを添付いたしました。これまでの3つの報告での提言事項を一覧にして、実施主体というのを右側に書かせていただいております、このようなチェックリストをつけさせていただきました。

以上でございます。

野依座長 ありがとうございます。

お手元の最終報告（案）につきましては、前回の合同分科会で私と座長代理にご一任いただきましたので、運営委員とも相談いたしました上、委員の皆様のご発言をおおむね反映させていただき形で修文させていただきました。本案をもって皆様にご了承いただければと存じておりますけれども、いかがでございましょうか。

（「異議なし」の声あり）

野依座長 ありがとうございます。

それでは、福田総理に最終報告をご手交申し上げたいと思いますが、その前に総理にごあいさつさせていただきたいと思います。

まず、プレスが入りますので、少しお待ちいただければと思います。

（プレス入室）

野依座長 それでは、総理から一言させていただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

福田内閣総理大臣 一昨年の10月の教育再生会議発足以来、1年4カ月たちまして、その間、皆様方には本当に熱心に審議にご参加をいただき、ありがとうございました。本日、最終報告をおまとめいただいたわけでございます。会議だけでなく、野依座長を筆頭にプロジェクトチームを組んで開催をしていただき、現場の視察、ヒアリングなど、いろいろ積極的に行っていただきました。また、この間政府としまして、昨年の通常国会の教育三法の成立などございまして、法改正、それから予算編成など、多くの事項を実施に移してこれたわけでございます。今後、取り組むべき事項についても、さまざまなレベルで検討が進められておるところでございます。これまでの野依座長、池田座長代理初め、委員の皆様方のご尽力に心から感謝を申し上げる次第でございます。

本日の最終報告でも、提言の実行が必要だというお話でございました。政府としても、最終報告をしっかりと受けとめて、皆様のご論議の成果が今後十分に活かされていくように、提言の実現、フォローアップに取り組んでいくとともに、内閣として教育問題に引き続き真摯に取り組むために、この後の新しい会議を内閣に設置したいと、このように考えているところでございます。これまでの委員の皆様のご協力に改めて感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

野依座長 総理、どうもありがとうございました。

まず、平成18年10月18日の第1回会議以来、今日最終報告に至るまでの委員の皆様の大変熱心なご議論、多大なご協力に対して改めて御礼申し上げたいと思います。教育再生会議のこれまでの提言は、すべて具体的に実行されてこそ、初めて意味を持つものだというふうに考えております。今後は提言の実現とフォローアップが重要でありまして、すべての子供たち、若者たちの未来のために、政府として具体的に教育再生を実現していただくことをお願いしたいと思います。

それでは、委員の皆様を代表いたしまして、座長の私から福田総理に教育再生会議の

「社会総がかりで教育再生を・最終報告」をご手交申し上げたいと思います。

(野依座長より手交)

(プレス退室)

野依座長 どうもありがとうございました。

それでは、本日の第12回の教育再生会議は閉会させていただきたいと思います。

これまでの皆様のご尽力に対して、心から感謝申し上げます次第であります。

どうもありがとうございました。

- 了 -